第９回　高校生ものづくりコンテスト山形県大会
電気工事部門

山形県立長井工業高等学校
事務局　　菅原　学

１．はじめに

当部門は山形市漆山の高齢・障害・求職者雇用支援機構山形職業訓練支援センターを会場に６月１５日（土）、１６（日）の２日間に渡って実施されました。

今年度、本大会には８校より１４名の参加申込がありましたが、大会当日に２名の棄権者があり１２名での大会となりました。

図１　（開会式の様子）

２．競技

本大会では、昨年度までと同様に全国大会の課題を採用しました。また全国大会では、施工条件（接続方法、点灯方法）は当日または前日発表となっていましたが、作業の難易度を考慮し、前日抽選の前日発表としました。

図２　（競技の様子）

課題としての難易度は昨年度と同様であったものの、作業量が少し増えたためか１２名の参加選手のうち、時間内に作業を終了させることができたのは９名、誤配線がなく完成させることができた選手は６名でした。

表１　大会結果　　＜３位まで入賞＞

順位	学校名 （学年　学科）	氏　名
1	新庄神室産業高等学校 ３年電気システム科	伊藤　匠平
2	鶴岡工業高等学校 ３年電気電子システム科	本間　悠介
3	新庄神室産業高等学校 ３年電気システム科	辺見　圭亮

３．おわりに

課題の難易度は昨年度とほぼ変わらなかったものの、ミスなく時間内に完成させた選手は６名と非常に厳しいものでした。上位者については差も僅かで高いレベルでの競り合いでしたが、来年度本県で開催される東北、全国大会へ向けてより一層の技術向上がのぞまれる大会となりました。

東北大会に出場した新庄神室産業高校の伊藤匠平君は時間内に県大会以上の作品に仕上げることができましたが、７校中６位という結果でした。審査基準が県大会と東北大会では異なることがあり、対応できなかったところが大きく減点されたようです

最後に、今年度も高齢・障害・求職者雇用支援機構山形職業訓練支援センター様には、会場と作業板をお借りし、山形県電気工事組合様から高額な材料提供をいただきました。また、山形県電気工事高等職業訓練校様にも材料の提供と、校長の藤田様には審査と貴重な助言をいただきました。また、今年度は東北電化工業株式会社の品質管理部長の宮本様をはじめ４名の方より審査および助言をいただいただけでなく、作業板の張り替えなど、様々なご支援をいただきました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

最後に大会の運営に対して多くの方々にご支援・ご協力をいただきました。重ねて感謝申し上げます。